

心理学のトピック 番外編 くその1

～T 教授の観察ノートから～

2007.12.15 タツノオトシゴ



さ～て、そろそろ今年も年末の大掃除、片付けることが一杯・・・
古い資料を整理していたら、面白いものが出てきたよ(^^;

何やら、古い油紙に包まれた羊皮紙の表紙の分厚い冊子
ページをめくると、今から 120 年前の 1887 年の T 教授が記録した観察ノートです。
所々に緑色のインクでコメントなど書かれており、日付からすると春から冬の間に観察した記録が書かれているようです。(それにしても、読みにくい字だな～あ！)

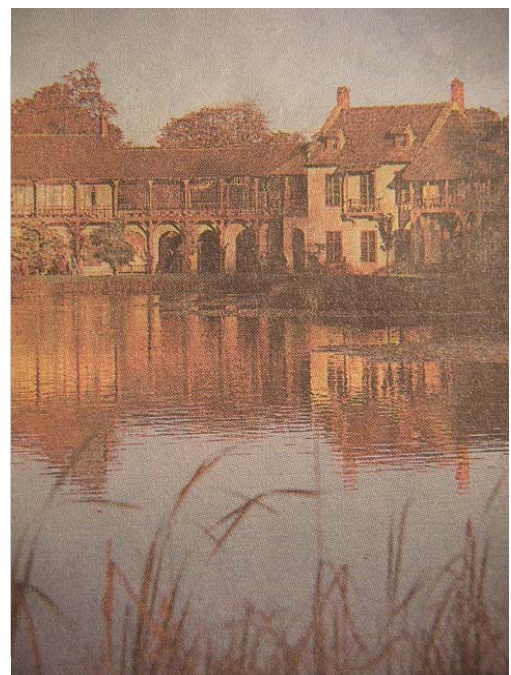
まあ文句を言わず読んでいくと、2 週間ぐらいの期間、学生達と小旅行に出かけたことが記されています。小さな湖畔での合宿らしく、その前後には建物を貸してもらうにあたっての S 婦人とのやり取りで苦労した様子などが伺われます。初めは S 婦人の所有しているバンガローを借りるつもりだったのが、彼女からの申し入れで屋敷の使っていない部屋を借りる事になったようです。T 教授とは古くからの知り合いで、研究の合間に何度か訪問しているようであり、細かなことは書かれていませんが、同郷で年齢も近そうです。そんな関係で、合宿の研究に S 婦人も特別参加を許されているのでしょう。

日記から引用すると、次のようなコメントが書かれていました。

『1987年9月15日、いよいよ学生達がやってくる。
穏やかな天気だが、この付近はこれから急に冷え込むことがあるのでチョッと心配であるが、名物の霧が湖面の上に出る日が近づいている。遠くから見ると、まるで薄絹が舞い上がっているようにも見え、まるで手で掴めそうな霧だ・・・』

湖畔の秋は、そろそろ色付きだし、水面に映る木々の姿が美しく、小動物たちが冬に備えて木の実を蓄える頃、静かな中にも活気が感じられるのでしよう。小春日和の穏やかな日々、のどかな一日が過ぎていきます。

そして、次にはこんなメモも残っています。



『今日は、S 婦人の知り合いで、可愛らしい C.G.ユングという男の子が来た。利発そうな顔立ちで、栗毛色の髪の毛が印象的だ。彼女は時々ユング君の家を訪問したり、此方の家に友達が何人か集まったりしているようだ』

初対面の C.G.ユング君には好感を抱てる様子が見受けられます。彼の母親と S 夫人の関係も記述されており、その集まりが何かは具体的には書かれておらず、T 教授が其処に参加した形跡はみられません。

さらに、その日の夜の事がメモに残されています。

『ユング君の夢の話聞いた。彼の夢には色々な色が出てくる。顔のない男というのは、多分自分の未来に対する不安感だろう。「紫色の渡り廊下」という部分がそれを表している。「ピンクのガラス玉」それは若さに対する憧れ？若い彼が思う事にしては不思議！』

T 教授の年からすると自分の孫に近い年齢のユング君、年の割には自分の将来に不安を抱く姿を感じ取っているのではないのでしょうか？ さらにこの続きがあって、『夢の中の夢』についての意見も書かれています。異国の、理解できない言葉が出てきたり、生まれ変わりについての願望も見受けられ、背景には子どもの世界とはかけ離れたものを感じ取ったようです。

そして、此処でも簡単なメモが・・・



『S 婦人:「やっぱり、お母さん譲りね！感受性が強く、物事を冷静に判断しているわ！」とコメント、性格的に母親に似ているのかな・・・?』

ユング君のお母さんに興味を示している様子が伺われます。

実は、S 婦人とユング君のお母さん達のグループは、ちょっと危ない関係なのかも・・・当時の記録を調べていると、定期的が集まりが催されており、その集まりに S 婦人が時々参加しています。滅多に外出しない S 婦人が夕方から遅い時間まで出かけ、夜の 10 時過ぎに馬車の迎えを執事に依頼していることも分かりました。T 教授が執事にそれとなく聞き、メモに書き残していたのです。

『執事によると「その日が近づくと S 婦人はソワソワ、そして帰ってくるとグッタリ」だそうだ。でも、定期的に出かけ、天気が悪くても止めると言わない重要な集まりらしい。彼女には、私の知らない友人付き合いが幾つかあり、ユング君のお母さんもその一人、機会があれば直接会って、お話しをしてみたいが S 婦人が反対するかも?』

数年前からの集まりは、限られたメンバーで行われ、日曜日の教会での集まりのときに時間や場所の確認をしているようです。

9月17日のメモには、その日の夕食前に学生のTICAについてのコメントが書き込まれています。T教授は、この子が大変お気に入りのようで、自分の研究調査などには必ず一緒に連れて行き、勉強のヒントを与えています。(美人って、得してますよね！)

『TICAは面白い！普段はお茶目な子だが、意外な面を持っているようだ。多分本人も気付いていないが、どんな夢を聞かせてくれるのが楽しみ(^^)』

多分食事のあとなのでしょう、次のような記述もあります。

『TICAは多分子どもが嫌い？ それとも自分が何時までも子どもでいたい！彼女の夢に出てくる女性達はTICAの分身でもあり、自分で気付いていない部分が出表されているのでは？ユング君と同じように、自分の将来に対するおぼろげな不安、夢と現実の混在感、もうしばらくは精神面と体のアンビバレントな状況が継続するのだろうが……。
子どもの時に受けた心の傷が癒えるまで、大分時間がかかりそうだ』



そして、その日の終わりに書かれていたのは次のようなメモ！
何やら予定外の事件が起きたようです。原因は良く分かりませんが、又も予定外の来客？

『大変な一日だった。まさか夢と同じ状況が現れるとは……S婦人が対応してくれたので大事にならずに済んだ。明日、教会の牧師さんが昼過ぎに迎えに来てくれる事になった』

その後のメモには、この日の出来事が書かれていないので、無事に身元の確かな引き受け先に連れて行かれたようです。予期せぬお客さんが多い今回の合宿ですが、この先、まだ何か起きる予感がします。



T教授の断片的なメモから、少しずつ人物像が浮かび上がってきました。
さて次回からどのような展開になるのでしょうか？